



オオイヌノフグリ

春の事でした。自転車の荷台に私を乗せた祖父はカゴにスコップと植木鉢、そして軍手を積んで出掛けました。自転車で出掛ける事はよくあったのですが、その日はいつもと様子が違いました。何かを探しているようなのです。訊ねてみようとした時、自転車が止まりました。カゴの道具を取り出して祖父はそこに咲いている小さな青い花を植木鉢に移す作業を始めたのです。何かと思い覗き込んでみると、それは外でよく目にするオオイヌノフグリでした。珍しい訳でもなく、どこにでもあるその花を持ち帰り、大切に育てていた祖父の心境が私には理解できませんでした。15年以上前の話です。

あれから今までの間に何度もオオイヌノフグリを目にする事はありましたが、その場に立ち止まる事はなく、特に気にとめる事はありませんでした。

そんな中で、昨年市民向けの植物観察会に参加する機会がありました。『春を感じる』というテーマで、普段からよく目にする路傍雑草をメインに見ていく観察会でした。いつもなら「咲いている」程度の感覚しかなかったのに道の隅に咲いているオオイヌノフグリを見た

ある日のフィールド・ノートから

雑草ですが...

ツククサ



時、なぜかその場にふさわしく、存在価値のある貴重なものに感じたのでした。この時15年以上前の出来事が脳裏に浮かび、あの時オオイヌノフグリに目を向けていた祖父の心境が何となく漠然と分かったような気がしました。

なにかと外に出る事が増え、仕事で地方に行った時のことです。周囲は田圃ば

かりで今自分が何県にいるのか分からなくなってしまいうらいにごくありふれた景色でした。その日の仕事が終わり、集合場所で人を待っている時でした。何気なく足元を見るとそこにツククサが咲いていたのです。

今までに何度も見たことがあり、この日の仕事でも何度か見ている筈なのに、これがツククサなのかと自分の目を疑ってしまう程綺麗で見とれてしまったのでした。

なぜ目にしていた筈なのに気が付かなかったのだろう、そう考えると、今までどこにでもあるものだから、とあえて見てみようとする感性を忘れていた自分がそこにいました。

オオイヌノフグリもツククサも特別珍しい植物でも貴重な植物でもなく、どちらかという雑草として扱われています。どこにでもあるような景色の中に、どこにでもあるような植物がある、それは当然な事かもしれません。でも景色の中に、雑草と呼ばれ注目される事の少ない種が1種1種存在しているからこそ、景観が成り立ち、残していきたい景色が出来上がっているのではないだろうか、そんな気が最近します。

(本社業務推進室・久保裕美)

4月上旬に新潟県の妙高高原へ行ったが、現地は例年よりも早い雪解け。気温が高く、毎日が雨が霧。期待していたハール・ボップ彗星を見ることができなかった。雪の中の彗星ウォッチングと洒落こみたかったのに...

5月でも、夕方の西天に明るさが衰えたハール・ボップ彗星が見られるとか。5月9日には、細くなった月と並ぶ彗星が見られるという。世紀末の大彗星の天体ショーを、見逃してなるものか。(中村)

東急大井町線が二子玉川園駅にさしかかる手前は「知る人ぞ知る」桜の名所だ。線路の脇すれすれまで枝を伸ばした染井吉野の花を、かなりまぢかに見られるのだ。座席に腰掛け窓に背を向けている人たちに、心の中で「ほらほら見てみて」といいつつ首をねじまげ桜を見送る。時々、同じようにしている人がいる。よかったねいいもの見たねー、と思う朝のひとつ。(南谷)

【発行】.....株式会社地域環境計画
 発行人.....高塚敏
 編集.....南谷佳世・中村兼吉・西邑恵子
 東京本社
 〒154 東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル
 TEL 03-5450-3700 / FAX 03-5450-3701
 営業窓口.....逸見一郎
 大阪支社
 〒569-11 大阪府高槻市古部町1-1-8
 TEL 0726-84-3182 / FAX 0726-84-3184
 営業窓口.....中山香代子・津田洋子